

日本惑星科学会2013年度秋季講演会 プログラム

2013年度日本惑星科学会秋季講演会実行委員会

●一般講演会

場所：石垣市民会館 大ホール(開館9時)

〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1丁目1番2

日時：2013年11月23(土・祝)13:30～

(開場 13:00)

題目：「New Worlds：太陽系外惑星観測の最前線」

講演者：田村(たむら) 元秀(もとひで)

(東京大学大学院理学系研究科・教授)

主催：石垣市教育委員会

共催：日本惑星科学会, 国立天文台

●秋季講演会

場所：石垣市民会館

〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1丁目1番2

口頭発表会場：大ホール

ポスター発表会場：1階ホワイエ

日程：2013年11月20(水)～11月22日(金) (3日間)

講演数：口頭 113件 ポスター 83件

(最優秀研究者賞特別講演および最優秀発表
賞選考を含む)

●プログラム概要

○11月20日(水)

09:00 開場・受付

09:30 特別セッション 最優秀発表賞選考

10:55 口頭セッション1 地球型惑星 I

11:45 昼食

12:40 ポスターセッション1

13:40 口頭セッション2 地球型惑星 II

14:50 口頭発表セッション3 系外惑星

16:50 口頭発表セッション4 惑星形成

○11月21日(木)

09:20 口頭発表セッション5 円盤・物質

10:40 口頭発表セッション6 衛星系・リング

12:00 昼食

12:50 ポスターセッション2

13:50 口頭発表セッション7 小天体 I

14:20 口頭発表セッション8 衝突

16:30 総会

17:20 最優秀研究者賞特別講演

18:30 懇親会 (会場：ホテルミヤヒラ)

○11月22日(金)

09:20 口頭発表セッション9 はやぶさ

11:50 昼食

12:50 ポスターセッション3

13:50 口頭発表セッション10 小天体 II

15:10 口頭発表セッション11 月科学・探査

17:30 口頭発表セッション12 分析・実験

18:30 口頭発表セッション13 惑星大気

●口頭発表プログラム

口頭発表の講演時間は特別セッション15分(3分間の質疑時間含む)、一般セッション10分(2分間の質疑時間含む)です。下記では講演開始時刻、講演番号、第一著者名、和文表題を掲載しています。(註1)

11月20日

09:00-09:25 受付(9時より開場)

09:25-09:30 開催挨拶, 連絡事項

特別セッション(最優秀発表賞選考)

(座長：城野信一)

- 09:30 S01 高空隙ダストの静的圧縮を考慮した微惑星形成 片岡章雅(総研大)
- 09:45 S02 遠赤外スタッキング解析による太陽系外オールド雲ダストの発見 有松亘(東大理)
- 10:00 S03 月面マリウス丘における玄武岩質溶岩噴出の時間推移に関する研究 今枝隆之介(東大理)
- 10:15 S04 周惑星円盤との相互作用による不規則衛星の捕獲 末次 竜(神戸大理)
- 10:30 S05 粉体物質の熱伝導率測定実験と月惑星表層の熱伝導率構造 坂谷尚哉(総研大)
- 10:45-10:55 休憩

口頭発表セッション1 (地球型惑星 I)

(座長：玄田英典)

- 10:55 O1-01 地殻のリサイクリングと地球型惑星の進化 小河正基(東大教養)
- 11:05 O1-02 水の散逸を伴う地球型惑星の進化 小玉貴則(東大理)
- 11:15 O1-03 ハビタブルゾーンにおける地球型惑星表層環境に対する炭素循環の影響 門屋辰太郎(東大理)
- 11:25 O1-04 系外惑星の直接撮像へ向けた系内天体の測光特性モデリング 藤井友香(東工大ELSI)
- 11:35 O1-05 星雲遭遇によるK-Pg境界の大量絶滅 二村徳宏(岡山天文博物館)

11:45-12:40 昼食

12:40-13:40 ポスターセッション1

口頭発表セッション2 (地球型惑星 II)

(座長：玄田英典・臼井寛裕)

- 13:40 O2-01 火星表層水の水素同位体組成 臼井寛裕(東工大理工)
- 13:50 O2-02 火星着陸生命探査計画MELOS1 佐藤毅彦(JAXA)
- 14:00 O2-03 MELOS火星着陸探査システムの概念設計現状 藤田和央(JAXA)
- 14:10 O2-04 MELOS1 生命探査装置：火星表面用

自動蛍光顕微鏡の開発状況 山岸明彦(東京薬科大生命科学)

- 14:20 O2-05 小型飛行機を用いた火星上空での風速観測 平栗弘貴(金沢大自然)
- 14:30 O2-06 フォボスにみられるグループの形態的特徴と分布 菊地 紘(東大総合研究博物館)
- 14:40-14:50 休憩

口頭発表セッション3 (系外惑星)

(座長：成田憲保・堀安範)

- 14:50 O3-01 短周期低質量系外惑星の内部組成と起源：大気スペクトル観測の重要性 生駒大洋(東大理)
- 15:00 O3-02 スーパーアースGJ1214bの多波長トランジット観測とその惑星大気組成 成田憲保(国立天文台)
- 15:10 O3-03 可視近赤外同時観測によるhot Uranus GJ3470bの大気調査 福井暁彦(国立天文台)
- 15:20 O3-04 M型星まわりの短周期低質量惑星の熱進化：GJ3470bの場合 黒崎健二(東大理)
- 15:30 O3-05 低温度星周りでの低質量惑星の特徴付け：水の存在量と大気量 堀安 範(国立天文台)
- 15:40 O3-06 水素大気を持つSuper-Earthの大気散逸が惑星組成に与える影響 黒川宏之(名大理)
- 15:50 O3-07 ホットスーパーアースの大気の放射特性と検出可能性 伊藤祐一(東工大理工)
- 16:00 O3-08 水蒸気大気とマグマ・オーシャンに覆われた惑星のスペクトル：系外惑星系での検出可能性 濱野景子(東大理)
- 16:10 O3-09 月食データを用いた地球大気の透過光高分散分光観測 川内紀代恵(東工大理工)
- 16:20 O3-10 HD 209458b大気の流れ力学的散逸の数値モデリング 渡辺健介(北大理)
- 16:30 O3-11 極めて若いホットジュピターCVSO40bの赤外トランジット観測 鬼塚昌宏(総研大)
- 16:40-16:50 休憩

口頭発表セッション4 (惑星形成)

(座長：長沢真樹子・生駒大洋)

- 16:50 O4-01 原始惑星の自転特性 柴田 雄(東大理
／国立天文台)
- 17:00 O4-02 火星は重い原始惑星系円盤中で小さい
微惑星から形成された 小林 浩(名大理)
- 17:10 O4-03 Density Independent Smoothed
Particle Hydrodynamicsによる巨大衝突シ
ミュレーション 細野七月(東工大理工)
- 17:20 O4-04 ジャイアントインパクトは見えるか?
玄田英典(東工大ELSI)
- 17:30 O4-05 中心星加熱円盤における惑星のタイプ
I軌道移動の数値計算と解析の見積もり 前島
直彦(名大環境)
- 17:40 O4-06 Type I惑星移動に対するダストの影響
について 山田 耕(早稲田大政経)
- 17:50 O4-07 高精度測光と高分散分光観測を用いた
星の自転軸傾斜角測定 平野照幸(東工大理工)
- 18:00-18:10 休憩
- 18:10 O4-08 巨大惑星まわりの原始惑星系円盤ギャ
ップ構造 金川和弘(北大低温研)
- 18:20 O4-09 巨大ガス惑星の影響下での微惑星集積
のN体計算 押野翔一(国立天文台)
- 18:30 O4-10 ホットジュピター存在下での多重惑星
系の形成 萩原正博(名大理)
- 18:40 O4-11 太陽系外における木星型連惑星の形成
落合裕道(東工大理工)
- 18:50 O4-12 原始惑星のガス捕獲による軌道進化～
円軌道長周期巨大ガス惑星の形成～ 菊地章宏
(東工大理工)

11月21日

口頭発表セッション5 (円盤・物質)

(座長：谷川享行)

- 09:20 O5-01 新学術領域研究「宇宙における分子進
化：星間雲から原始惑星系へ」 香内 晃(北大
低温研)
- 09:30 O5-02 惑星間塵中の有機物と生命の起源：地
上および宇宙実験による検証 小林憲正(横浜
国立大工)
- 09:40 O5-03 原始惑星系円盤における有機分子生成
古家健次(神戸大理)

- 09:50 O5-04 原始惑星系円盤の水氷に対する光脱離
反応の検出における理論的示唆 高附翔馬(東
工大理工)
- 10:00 O5-05 焼結ダストアグリゲイトの衝突数値シ
ミュレーション 城野信一(名大環境)
- 10:10 O5-06 原始惑星系円盤における大局磁場の輸
送と進化 奥住 聡(東工大理工)
- 10:20 O5-07 HD142527に付随する非対称ギャップ
円盤のALMA観測 百瀬宗武(茨城大理)

10:30-10:40 休憩

口頭発表セッション6 (衛星系・リング)

(座長：奥住聡)

- 10:40 O6-01 波構造を考慮にいれた土星Aリングの
温度モデル 森島龍司(カリフォルニア大)
- 10:50 O6-02 周惑星円盤中の固体分布 谷川享行
(北大低温研)
- 11:00 O6-03 周惑星円盤の形成・進化についての理
論的解析 藤井悠里(名大理)
- 11:10 O6-04 惑星まわりの粒子円盤の進化と衛星形
成 兵頭龍樹(神戸大理)
- 11:20 O6-05 周惑星ガス円盤中で集積する巨大氷衛
星の原始大気 三上 峻(北大)
- 11:30 O6-06 土星衛星エンセラダスにおける熱水活
動 関根康人 (東大新領域)
- 11:40 O6-07 木星の影におけるガニメデからの近赤
外線放射 津村耕司(JAXA)
- 11:50 O6-08 JUICE搭載レーザ高度計(GALA)のサ
イエンス目標 木村淳(東工大ELSI)

12:00-12:50 昼食

12:50-13:50 ポスターセッション2

口頭発表セッション7(小天体I)

(座長：小久保英一郎)

- 13:50 O7-01 ケンタウルスの軌道進化と彗星活動2
樋口有理可(東工大理工)
- 14:00 O7-02 トロヤ群小惑星の力学進化 岡山博明
(神戸大理)
- 14:10 O7-03 原始惑星系円盤内で高速になる微小天
体の軌道進化 長沢真樹子(東工大広域理)

口頭発表セッション 8(衝突)

(座長：道上達広・荒川政彦)

- 14:20 O8-01 天体スケールにおける衝突破壊モデルの再検討 藤田智明(東大理)
- 14:30 O8-02 普通コンドライト母天体を形成した微惑星の低速度衝突実験：同サイズ試料の衝突破壊に対する斜め衝突の影響 河本泰成(神戸大理)
- 14:40 O8-03 C型小惑星模擬物質への衝突実験 岡本千里(JAXA)
- 14:50 O8-04 事前衝突を経験した多結晶氷の衝突破壊条件に関する実験的研究：氷天体の蓄積ダメージの見積もり 保井みなみ(神戸大自然)
- 15:00 O8-05 高空隙な始原天体の衝突進化：衝突キャビティ形成の実験的研究 岡本尚也(神戸大理)
- 15:10 O8-06 カンラン岩ターゲットへの高速度衝突により放出される破片の3次元形状分布 島田玲(大阪大理)
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30 O8-07 斜め衝突時の衝撃圧縮段階の超高速撮像観測 黒澤耕介(千葉工大)
- 15:40 O8-08 衝突エネルギー密度と玄武岩衝突破片の形状分布 道上達広(近畿大工)
- 15:50 O8-09 クレーターエジェクタの速度分布に関する実験的研究：Wada's methodの応用 辻堂さやか(神戸大理)
- 16:00 O8-10 C型小惑星含有鉱物における太陽風プロトンの影響 仲内悠祐(総研大)
- 16:10 O8-11 炭素質隕石の衝突蒸発：室内実験の結果と引き起こされる環境変動 大野宗祐(千葉工大)
- 16:20 O8-12 ガラスビーズ焼結体の熱伝導率測定と微惑星熱進化への応用 津田彰子(東大理)
- 16:30-17:20 総会
- 17:20-18:10 最優秀研究者 受賞講演
- 18:10-18:30 休憩(会場移動)
- 18:30-20:30 懇親会
会場：ホテルミヤヒラ

〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町4-9

11月22日

口頭発表セッション 9(はやぶさ)

(座長：千秋博紀・渡邊誠一郎)

- 09:20 O9-01 はやぶさNIRS/LIDARデータの再解析で分かった小惑星Itokawaの宇宙風化と重力傾斜の相関 阿部新助(日大理工)
- 09:30 O9-02 多バンド画像を用いたイトカワ表面スベクトルの高空間分解能解析 古賀すみれ(東大新領域)
- 09:40 O9-03 イトカワ表面の礫の姿勢・サイズ・形状測定による表層流動性の考察 青木隆修(神戸大理)
- 09:50 O9-04 鉛直振動を受けた粉体層の対流構造とその速度のスケージング 山田智哉(名大環境)
- 10:00 O9-05 はやぶさ2の統合サイエンスと運用戦略 渡邊誠一郎(名大環境)
- 10:10 O9-06 小惑星1999JU3の重力および軌道推定について 池田 人(JAXA)
- 10:20 O9-07 CVコンドライト及びCRコンドライトの水質変成について 小松睦美(早稲田大高等研)
- 10:30 O9-08 炭素質コンドライトの可視・近赤外反射分光特性の「はやぶさ2」ミッションへの応用 廣井孝弘(ブラウン大)
- 10:40 O9-09 はやぶさ2の試料採取地点の決定に向けた隕石反射分光実験 武井亮斗(立教大理)
- 10:50-11:00 休憩
- 11:00 O9-10 はやぶさ2LIDARによるアルベド観測の検証 山田竜平(国立天文台)
- 11:10 O9-11 はやぶさ2LIDARを用いたダスト観測 千秋博紀(千葉工大)
- 11:20 O9-12 「はやぶさ2」中間赤外カメラ(TIR)の開発の現状 岡田達明(JAXA)
- 11:30 O9-13 はやぶさ2DCAM3-Dの光学性能検証試験 石橋 高(千葉工大)
- 11:40 O9-14 はやぶさ2 ONC-Tの光学較正試験結果について 佐藤允基(立教大理)

11:50-12:50 昼食

12:50-13:50 ポスターセッション 3

口頭発表セッション 10(小天体II)

(座長: 渡部潤一)

13:50 O10-01 太陽系小天体名の発音調査 佐藤 勲

14:00 O10-02 地球近傍小天体2012 DA14の可視分光観測 浦川聖太郎(日本スペースガード協会)

14:10 O10-03 メインベルト小惑星のアルベド分布の傾向 白井文彦(東大理)

14:20 O10-04 石垣島天文台105cmむりかぶし望遠鏡による太陽系小天体観測 花山秀和(国立天文台)

14:30 O10-05 反射スペクトルから見た木星の小衛星とヒルダ群・トロヤ群小惑星との関係 高遠徳尚(国立天文台)

14:40 O10-06 チェリャビンスク隕石の現地調査と衝突前発見の可能性 高橋典嗣(日本スペースガード協会/明星大)

14:50 O10-07 チェリャビンスク火球の光度曲線 柳澤正久(電通大情報理工)

15:00-15:10 休憩

口頭発表セッション 11(月科学・探査)

(座長: 小林直樹・山田竜平)

15:10 O11-01 月バルク組成制約に向けたマグマオーシャン熱進化モデルの構築 酒井理紗(東大理)

15:20 O11-02 月高地地殻のMg#とTh濃度相関から考察するマグマオーシャン固化過程 大竹真紀子(JAXA)

15:30 O11-03 月隕石DaG 400に含まれるトロクトライト地殻 荒井朋子(千葉工大)

15:40 O11-04 月の海の玄武岩組成が示唆する月マントルの進化史 加藤伸祐(名大環境)

15:50 O11-05 月核条件でのFe-O-S系の融解とオリビン・鉄メルトの反応: 月核マントル境界への応用 赤松明香(東北大理)

16:00 O11-06 かぐやGRSで得られた月表面の鉄成分の全球分布 晴山慎(聖マリアンナ医科大)

16:10 O11-07 観測衛星による連続分光データを使

った月面上のCaに富む輝石の全球搜索 山本聡(国立環境研)

16:20 O11-08 アポロ試料粒子形状を用いた月表面での影隠し衝効果のシミュレーション 丸山薫(大阪大理)

16:30 O11-09 月・小天体・火星の縦孔・地下空洞探査の科学目的 春山純一(JAXA)

16:40 O11-10 月縦孔・地下空洞探査に向けたキャスティングシステムの開発 有隅 仁(産総研)

16:50 O11-11 月惑星熱流量の精密観測手法に関する検討と測定プローブの基礎開発(2) 堀川大和(総研大)

17:00 O11-12 ボロノイ図を用いたクレーターの空間分布の評価 木下達生(会津大コンピュータ理工)

17:10 O11-13 火山観測ロボット野外実証試験活動報告 佐伯和人(大阪大理)

17:20-17:30 休憩

口頭発表セッション 12(分析・実験)

(座長: 永原裕子)

17:30 O12-01 K-Ar法を用いた惑星着陸探査におけるその場年代計装置の開発: 天然岩石のもつアイソクロン年代の算出 長 勇一郎(東大理)

17:40 O12-02 真空紫外LIBSによるK-Ar年代測定方法の検証 奥村裕(立教大理)

17:50 O12-03 Type IIコンドリュールに含まれるカンラン石斑晶に見られるFeO-rich overgrowth層の形成条件 三浦 均(名古屋市立大システム自然科学)

18:00 O12-04 珪酸塩の高温加熱過程の放射光によるその場観察実験 上相真之(JAXA)

18:10 O12-05 観測ロケット“S-520-28号機”を用いた微小重力実験から探る鉄微粒子の生成過程 木村勇氣(東北大理)

18:20 O12-06 分子間水素原子移動によるHOCOラジカルの分解 大島 基(大阪大理)

口頭発表セッション 13(惑星大気)

(座長: 林祥介)

18:30 O13-01 大気大循環モデルを用いた木星型惑

星大気の数値実験 高橋芳幸(神戸大理)

18:40 O13-02 木星大気における雲の凝結メカニズム:放射対流平衡モデルを用いた大気成分鉛直分布の推定 高橋康人(北大理)

18:50 O13-03 同期回転惑星大気の数値実験:非灰色放射スキームと雲スキームを用いた場合 石渡正樹(北大理)

●ポスター発表プログラム

ポスターは3日間掲示できます。下記では発表番号、第一著者名、和文表題をコアタイム毎に掲載しています。ポスターは最終日の口頭発表セッション12開始前までに撤収して下さい。(註1)

ポスターセッション1:1日目(11/20)12:40~13:40

S01 高空隙ダストの静的圧縮を考慮した微惑星形成 片岡章雅(総研大)

S02 遠赤外スタッキング解析による太陽系外オールト雲ダストの発見 有松 亘(東大理)

S03 月面マリウス丘における玄武岩質溶岩噴出の時間推移に関する研究 今枝隆之介(東大理)

S04 周惑星円盤との相互作用による不規則衛星の捕獲 末次 竜(神戸大理)

S05 粉体物質の熱伝導率測定実験と月惑星表層の熱伝導率構造 坂谷尚哉(総研大)

P1-01 周惑星円盤内におけるガス抵抗による微惑星軌道進化 清水俊平(神戸大理)

P1-02 オールト雲起源新彗星の力学進化 伊藤孝士(国立天文台)

P1-03 N体計算と統計的計算を組み合わせた惑星集積コードの開発 森島龍司(カリフォルニア大)

P1-04 原始惑星からの地球型惑星形成 小久保英一郎(国立天文台)

P1-05 高解像度シミュレーションによる地球型惑星形成における巨大惑星の移動中の検証 Sofia Lykawka Patryk(近畿大総合社会)

P1-06 平均運動共鳴への捕捉条件の導出と系外惑星が経験した惑星移動速度への制限 荻原正博(名大理)

P1-07 惑星がつくるギャップ形状を考慮したガス惑星の成長と軌道進化 和田義輝(東工大理工)

P1-08 散逸円盤中のスーパーアースの大気獲得 廣瀬翔(東大理)

P1-09 トランジット低質量系外惑星の透過スペクトルモデル 川島由依(東大理)

P1-10 海惑星が有するH₂O層の構造と熱的状态 中山陽史(東大理)

P1-11 氷ダストの"こしとり"による地球への水供給量の調整 佐藤貴央(東工大理工)

P1-12 楕円軌道ガス円盤の永年進化 今枝佑輔(東工大総合理工)

P1-13 光蒸発を考慮した中質量星周りで原始惑星系円盤の散逸 國友正信(東工大理工)

P1-14 原始惑星系円盤でのダスト落下問題における電荷を帯びたダストの運動と磁場の影響について 平井研一郎(東北大理)

P1-15 原始惑星系円盤のガス圧力バンプにおけるダスト・ガス密度分布の進化とストリーミング不安定性 瀧 哲朗(東工大理工)

P1-16 層流円盤におけるダスト層の重力不安定性の数値シミュレーション 石津尚喜(国立天文台)

P1-17 原始惑星系円盤初期のダストの組成分布~熱力学的平衡計算とParticle Tracking Model~ 中田 守(東大理)

P1-18 始原的隕石と斑状コンドリュールのストロンチウム安定同位体異常に関する研究 奥井航(東工大地惑)

P1-19 有機物マントルをもつダストの衝突合体速度の温度依存性 上田裕太(東大理)

P1-20 潮汐場における自己重力アグリゲイトの衝突破壊 兵頭龍樹(神戸大理)

P1-21 Density Independent Smoothed Particle Hydrodynamicsの非理想気体への拡張 細野七月(東工大理工)

P1-22 任意の物理量の微分可能性を必要としないSPH法の開発 山本智子(東工大理工)

P1-23 火星の表層水量の進化:火星隕石中の水素3位体からの制約 黒川宏之(名大理)

P1-24 火星大気の組成混合比変動を考慮したMG4電波掩蔽観測データの再導出 野口克行(奈良女子大理)

P1-25 火星隕石Tissintの地球化学的研究:火星マントル化学進化の理解に向けて 森脇涼太(東工

大理工)

- P1-26 火星回転計測のための逆VLBI宇宙実証実験
岩田隆浩(JAXA)
- P1-27 InSightで観測される大気励起火星常時微動
小林直樹(JAXA)
- P1-28 Viking Lander 2 地震計のデータ復元 山本幸生(JAXA)
- ポスターセッション2: 2日目(11/21)12:50~13:50
- P2-01 最近の13個の彗星(核)の偏光撮像観測結果
古荘玲子(都留文科大)
- P2-02 北大ピリカ望遠鏡による探査候補小惑星の観測
関口朋彦(北海道教育大旭川校)
- P2-03 地球大接近小惑星2012 DA14の表面特性測定
寺居 剛(国立天文台)
- P2-04 2012 DA14地球最接近時の近赤外カラー観測
高橋隼(兵庫県立大 天文科学センター)
- P2-05 NASA Deep Impact/EPOXIフライバイ探査ターゲット小惑星(163249)2002 GTの多色ライトカーブ観測 阿部新助(日大理工)
- P2-06 Sub-kmメインベルト小惑星のカラー分布 吉田二美(国立天文台)
- P2-07 太陽系小天体の深撮像観測に特化した可視広帯域フィルターの開発と性能評価 奥村真一郎(日本スペースガード協会)
- P2-08 沖縄地方における小惑星による恒星の掩蔽の予報 佐藤 勲
- P2-09 小惑星表面の温度場に対する2次加熱とその応答について 滝田 隼(東大理)
- P2-10 熱水実験と反応理論モデルに基づくセレスの表面鉱物の解釈: 形成・熱進化への示唆
森 愛美(東大理)
- P2-11 チェリャビンスク隕石火球: 微気圧および広帯域地震観測網に記録された衝撃波シグナルの特徴 石原吉明(産総研)
- P2-12 木星火球の観測 今井啓輔(電通大情報理工)
- P2-13 木星火球シミュレーション 片桐陽輔(電通大情報理工)
- P2-14 木星火球のメタンバンド観測 森山正和(電通大情報理工)
- P2-15 木星衝突発光現象の検出の試み 渡部潤一(国立天文台)
- P2-16 小天体衝突によりガス惑星大気中に生成された揮発性分子の化学進化 飯野孝浩(名大太陽地球環境)
- P2-17 模擬星間環境中での宇宙線による複雑態アミノ酸前駆体の生成 小林憲正(横浜国立大工)
- P2-18 宇宙線による星間物質からの核酸塩基無生物的生成の検証 小林憲正(横浜国立大工)
- P2-19 最新のカッシーニ探査データに基づくディオネの表層進化史 平田直之(東大総合研究博物館)
- P2-20 ガニメデの金属核形成と膨張地形形成, カリスト・タイタンとの進化の分岐 木村 淳(東工大 ELSI)
- P2-21 鉛直加振による粉粒体・液体系の液化化と流体輸送の実験 安田奈央(金沢大自然)
- P2-22 砂への低速度衝突による衝突励起地震の観測 松本恵里(神戸大理)
- P2-23 低密度脆性弾丸による空隙率を持つ標的への衝突実験 原田竣也(神戸大理)
- P2-24 レゴリス模擬標的に対するインパクトの破壊と破片固化 長岡宏樹(神戸大理)
- P2-25 粘性流体への固体弾衝突によるフィンガリング不安定性とクレーター構造 桂木洋光(名大環境)
- ポスターセッション3: 3日目(11/22)12:50~13:50
- P3-01 NaClを含むはやぶさ帰還粒子のコンソーラム研究 矢田達(JAXA)
- P3-02 はやぶさ試料のコンソーシウム研究: 最大試料の分析について 上相真之(JAXA)
- P3-03 はやぶさ試料のコンソーシウム研究: 金属粒子およびリン酸塩鉱物を含む粒子の分析について 唐牛 譲(JAXA)
- P3-04 C型小惑星の位相曲線: 地形による影の影響 北里宏平(会津大 先端情報科学)
- P3-05 はやぶさ2 近赤外分光計NIRS3の運用計画 北里宏平(会津大 先端情報科学)
- P3-06 はやぶさ2LIDARの光トランスポンダ機能を使った機器アラインメント測定 野田寛大(国立天文台)
- P3-07 Hayabusa-2 DCAM3-Dの耐環境設計と検証試験 小川和律(東大新領域)

- P3-08 はやぶさ2搭載DCAM3-D用CMOS光学センサの性能評価 白井 慶(JAXA)
- P3-09 はやぶさ2小型衝突装置の中空弾丸がクレータ形成過程に及ぼす影響 荒川政彦(神戸大理)
- P3-10 はやぶさ2探査機データを用いた小惑星形状モデル作成手法の検討 平田成(会津大コンピュータ理工)
- P3-11 はやぶさ2搭載ミネルバ2における紫外LEDを用いた有機鉱物検出の試み 出村裕英(会津大コンピュータ理工)
- P3-12 月・水星・小惑星のナトリウム大気 亀田真吾(立教大理)
- P3-13 かぐや搭載マルチバンドイメージャの分光画像データ校正・解析最前線 大竹真紀子(JAXA)
- P3-14 かぐやレーダサウンダ観測による月表層媒質の実効誘電率及び密度の推定 熊本篤志(東北大理)
- P3-15 かぐや衛星搭載レーダサウンダと地形・分光カメラに基づいた月玄武岩層のバルク誘電率と空隙率の推定 石山 謙(東北大理)
- P3-16 月の物理探査：次のターゲット 佐々木 晶(大阪大理)
- P3-17 次期月探査計画SELENE-2の検討状況(3) 田中 智(JAXA)
- P3-18 月レーザー測距用ホロー型新規月面反射板の開発 荒木博志(国立天文台)
- P3-19 DOE(Diffractive Optical Element)を用いた月面天測望遠鏡の開発及びDOE試作状況 鹿島伸悟(国立天文台)
- P3-20 月面CCRの光学応答解析及びCCM作製基礎検討 鹿島伸悟(国立天文台)
- P3-21 月縦孔・地下空洞探査 春山純一(JAXA)
- P3-22 月の線状重力異常地域の地形的特徴 澤田なつ季(金沢大理工)
- P3-23 月面swirl4地域における分光特徴量の比較とswirl形成過程への制約 小川佳子(会津大 先端情報科学)
- P3-24 月の初期分化におけるチタンの役割 堀 文子(東大理)
- P3-25 クレータ生成率モデルの修正と月進化史への影響 諸田智克(名大環境)
- P3-26 模擬低重力下での砂標的へのクレータ形成実験 木内真人(神戸大理)
- P3-27 玄武岩標的クレータ形成実験から求められたスケーリング則 高木靖彦(愛知東邦大)
- P3-28 イジェクタカーテン観測からイジェクタの放出角度と速さを推定する方法 和田浩二(千葉工大)
- P3-29 CReSS を用いた火星気象予測実験 杉山耕一朗(北大理)
- P3-30 ピリカ望遠鏡とVMCによる金星の同時紫外測光の手法開発とスーパーローテーション周期の持つ寿命推定 今井正亮(北大理)
- 註)
- 1) プログラムの詳細は、日本惑星科学会のホームページに記載されております。下記アドレスをご参照下さい。
https://www.wakusei.jp/meetings/fall_meeting/2013/program.html
 - 2) プログラムに関するお問い合わせは、学会LOC宛(下記メールアドレス)までお願い致します。
aloc@wakusei.jp